

# 人のうわさ話は誰がどのような相手と行っているのか？

## スマートフォン通信ログを用いた評判共有分析

鈴木貴久  
Takahisa SUZUKI

小林哲郎  
Tetsuro KOBAYASHI

### どのような研究？

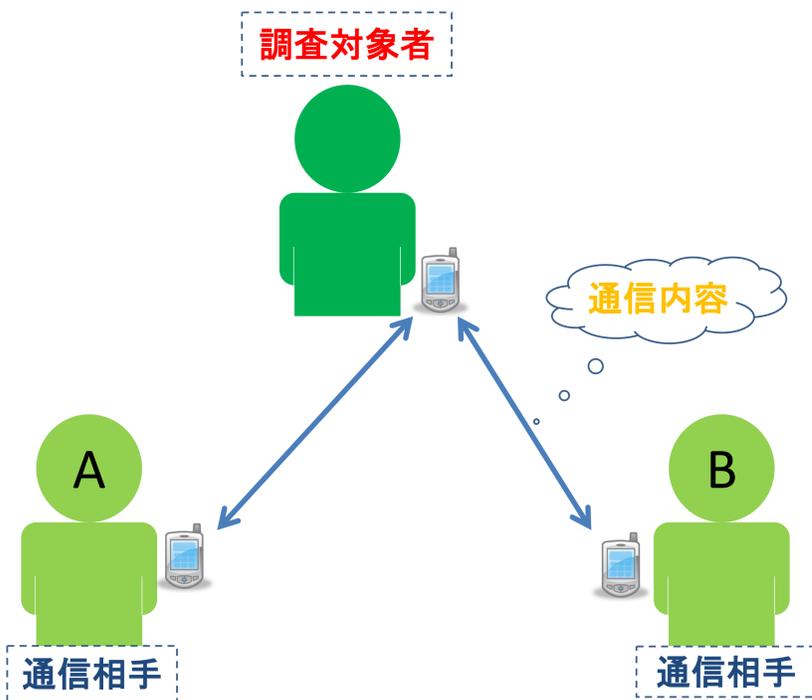
他人の評判を話すことでメリットを得られる状況とは？  
“他人の評判は、誰がどのような相手と話しているのか”を分析

- ⇒人間関係の新規構築や維持を必要としている人たちが、信用できる相手と話している
- このような場面では、評判は協力的な人間関係を築くために用いられている可能性がある
  - ✓評判情報を交換できるようコミュニケーションを促進させることが必要になる

### 評判とは

- 評判は対象者の過去の行動を評価した情報
  - ✓積極的に他人に協力をする＝良い評判の持ち主になる
  - ✓自分だけ楽しもうとする＝悪い評判の持ち主になる
  - 共有されると協力は促進され、利己的行動は抑制される
  - 協力的な人間関係を構築するために有効
- 日常会話では、ゴシップ(＝他人についての話題)に含まれる
  - ※一般的には、ゴシップは会話をただ楽しむ目的で行われ、話しすぎる人は敬遠されることが多い

## スマートフォンを用いたコミュニケーション行動の測定



### スマートフォンアプリを用いた測定

1. 調査対象者のスマートフォンにアプリをインストールしてもらう
  2. 通信(通話・SMS・Gmail)ログが収集される
  3. 通信が行われたら、その通信相手との関係、通信内容についての質問が行われる
- 『誰が、誰と、どのような内容についてのコミュニケーションを行ったのか』を測定することができる

### 測定内容

- ①調査対象者について  
年齢、性別、グループ活動への参加、身の周りの人間関係の変化の程度
- ②通信相手について  
関係性(仕事関係者・学校関係者)、居住地の近さ、親密さ
- ③通信内容について  
ゴシップ、趣味の話題、取りとめない話題

## 分析

### 調査対象者と通信相手の間のリンクを単位とした分析

- 調査対象者;190人、リンク数;591本
- 3種類の話題についての比較

ゴシップ、取りとめない話題、趣味に関する話題

※各話題について、どのような調査対象者と通信相手が、通信したのかを分析



- ゴシップについて話す人＝グループ活動に参加している人、身の周りの人間関係の変化が激しい人  
⇒人間関係の新規構築や維持を必要とする人
- ゴシップについて話す相手＝親密な相手
- 取りとめない話題・趣味に関する話題について話す相手＝仕事関係者以外の相手  
⇒ゴシップについて話す相手は、相手が仕事関係者かプライベートな知人かは重要ではなく、秘密を共有できる親密な相手であることが重要

	通信内容		
	ゴシップ	取りとめない話題	趣味に関する話題
調査対象者項目			
性別(女性)	-0.26	0.37	-0.55
年齢	0.01	-0.04*	0.00
仕事利用有無	-0.26	0.21	0.11
グループ活動参加	0.54**	0.16	0.34
人間関係の変化	0.12*	0.06	0.10
通話回数	0.00	0.01*	0.00
通信相手項目			
調査回答回数	0.13**	0.22**	0.08*
仕事関係者	-0.47	-2.23**	-2.31**
学校関係者	0.00	-0.53	-0.44
親密さ	0.73**	0.79**	-0.29
居住地の近さ	-0.22	0.33	-0.20
定数	-5.50**	-1.88	-2.50+
Obj	591	591	591
N	190	190	190

\*\* p<.01, \* p<.05, + p<.10